



新たな時代を生きる上中生よ 入学・進級おめでとう！

4月7日（水）、前夜の雨が上がり、次第に春の青空が広がる中、令和3年度の入学式と始業式を行いました。それぞれの式の冒頭で、1年生165名の入学と、2年生171名、3年生176名の進級を認めました。皆さん、入学・進級おめでとう！入学や進級は「当たり前」にできるものではなく、ここまで皆さんを育て、導いてくださった保護者をはじめ、多くの方々のお力があってのことです。「ありがたいこと」として、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

入学式「校長授業」より（要約）

日々の「あいさつ」を頑張ってみましょう



校長先生は、授業を行うことができません。こうやってみんなに話ができる場面を、「校長先生の授業」として大切にしています。今日は、これから短く、校長授業の一回目をを行います。

毎週日曜日の夕方、テレビアニメと言えば？ 「サザエさん」ですね。校長先生が、ものごころついた頃から、日曜日の午後6時30分は「サザエさん」です。さて、最近の「サザエさん」でこんな場面がありました。

磯野家の家族7名の中で、今一つ、ご近所さんからも印象が薄く、「サザエさんの妹さんね」「カツオくんの妹さんね」と言われることが多いことを気にしたワカメちゃんが、何とか、自分の存在感をアップさせようと、花沢不動産の看板娘である花沢さんに、アドバイスを受けに行きます。

花沢さんは、お店の前を掃除しながら、道行く人に「おはようございます」「こんにちは」の挨拶をしたり、家の人のおつかいに出かけたりして、いろいろなお店の人に自分のことを知ってもらっていることを話しました。ワカメちゃんは、その話を聞き、磯野家の前を掃除し、通っていく人に挨拶をしたり、お母さんであるフネさんや、姉のサザエさんにお使いをねだり、積極的にお手伝いを行ったりするようになりました。というお話でした。

「あいさつ」に目的など無いのかも知れません。何かのためにあいさつをするのではなく、もしかすると呼吸のように自然発生するものなのかも知れません。でも、このサザエさんの一コマのように、あいさつをすることで、自分の存在を知ってもらうこともできるのだということを、中学校に入学するにあたって、覚えておいてください。

上中は、「あいさつ」に力を入れている学校です。求めているのは、型にはまったやられるあいさつではなく、**自然に口から出てくる「さりげないあいさつ」**です。

それこそが、**これから長い人生を送っていく皆さんの、大きな武器の一つになるもの**だと思います。

今日からの中学校生活。小学校の時より、少しだけ頑張ってみましょう。



新入生は身体を中央に向け、しっかり「授業」を受けました

令和3年度 豊田市立上郷中学校の学校運営について

校訓 堅い意志 深い勉強 強い鍛錬

めざす生徒像

- ア 高い知性と創造性をもち、積極的に努める生徒 「真剣な眼差し」
イ 豊かな心を持ち、自他を大切に、協力する生徒 「明るい表情」
ウ 体力と気力に満ち、健康で明るく最後までやりぬく生徒 「元気な声」

スローガン **Power of Kamigo** (上郷の底力)

～あらゆるものは つながっている～

【開校75年「誇れる上郷中」の創造】

経営方針

「学校の当たり前」に感謝する年に ～今だからこそ見つめたい「本来の学校」～

- 1) 主体的な学びを充実し、学ぶ意欲や喜びを喚起する学習指導に努める。
- 2) 正しい判断力と思いやりの心を培い、心の通い合う学校生活の実現に努める。
- 3) 命・健康・安全に気を配り、たくましい心身の育成、健康安全指導に努める。
- 4) 学校を開き、家庭や地域との連携を進め、地域ぐるみの教育の実現に努める。

重点努力目標

手
だ
て
**先
手
必
勝
!**

1) 真剣な眼差し (意欲=知)

- 主体的で深い学びの展開を工夫し、確かな学力を身につけさせる。
- 基礎基本の定着を図る。 ○朝の読書を通じ、読解力・表現力を高める。
- GIGA スクール構想を受け、タブレット端末の積極的な活用を進める。
- キャリア教育を計画的・系統的に進め、展望できる進路指導に努める。

2) 明るい表情 (自己存在感=徳)

- 「褒める」「認める」を重視し、共感的人間関係、自己存在感を高揚する。
- 道徳授業を充実させ、「言うことも立派だが、やることも立派」な生徒を育てる。
- 生徒主体の行事を展開し、感動を体験・創造する中で心を育てる。
- 生徒と教師が共汗共働する中で、望ましい信頼関係を構築する。
- 予防的な生徒指導、成長を促す生徒指導を計画的に進める。

3) 元気な声 (活力=体)

- 基本的な生活習慣の定着を図る。「あいさつ」の指導をすべての基本とする。
- 「学校の新しい生活様式」の指導を継続的に進めていく。(「WITHコロナ」の時代)
- 給食指導を重視し、食育の充実を図る。(食物アレルギーへの対応)
- 相談活動やハートフルルーム運営を充実し、心の居場所づくりをする。
- 部活動への積極的参加を促し、体力・気力を充実する。

4) 地域ぐるみの教育の実現 (共通理解・共通実践)

- 地域に貢献し、地域を愛する気持ちを高める。「WE LOVE かみごう」
- 地域学校共働本部を積極的に活用し、地域の教育力を学校教育に生かす。
- 休日の部活動指導を、地域指導者の手に段階的・試行的に移行させていく。
- 学校公開や各種たより、HPで上中教育の啓発、理解、協力を促す。